

特集

自治会活動

他校を取材

生る。文に
立て校の
成りて校
行部集や
執心本自
現在、回
生徒今化
化集点と



発行所
大阪府立阿倍野高校
新聞部

私は誰の意見にも
賛成したいとは思わ
ない。私は自分の意見
をもって、
ツルゲーネフ

親善を深める

一阪南V&大和V

この度、阪南高校と大和川高校との間で、両校の生徒の交流を、スポーツを通じて深めるという目的で、生徒交流会(定期戦)が行われることになった。これは、初めての試みで、両校とも活気づいている。
日時：七月十八日(金) 両校の期末テストの終わりで、大和川高校にて、午前二時から五時の間に行う。雨天の場合は中止である。
生徒交流会で行われる種目は、男子バスケットボール、ソフトボール、女子バスケットボール、バレーボールで、全員が満員に参加できる。両校との間で、人数もいろいろ検討された結果、一クラス男子バスケット、男子バスケット、

他校訪問

六月九日(火)、我が阿倍野高校新聞部は、第六学区の府立天王寺高校(以下天王寺)を訪れた。
天王寺のクラブは、文化部より運動部の部員が多く、活発な活動である。しかし、文化部でもブラスバンド部やフットボール部など音楽系のクラブは、毎年新入部員が多い。

風格ある学園
＜天王寺高校＞

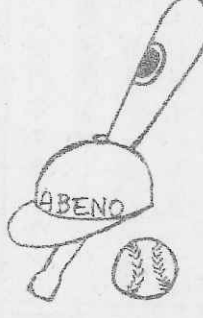
うだ。その他に十年ぶりに復活するという弁論部や、コンピュータを扱う数学科など、本校では見られない。このクラブもいくつかあった。天王寺は、高では十一月に文化祭(一般)に文化祭が行われる。出しものは特に飲食店が多い。ただし、その場合は飲食店と映画というように、文化的なものや並行して行なわれる。はいけないとの事であった。
最後に校内を見学させてもらった。第六学区の中でも最も古い、明治二十九年創立の天王寺は、ずいぶん風格を漂わせていた。

大和川高校
生徒会長

「このように、定期戦が行われるようになったのも、前の生徒会ががんばってくれたからだ。」

運動部会
阿波先生

「定期戦が行われるという主旨については賛成である。しかし、現在、我が校でこれを行うとなると春のクラスマッチや文化祭、体育大会などにおわれて処理できない。」



記者席

昨年に比べ出席率も良く、発言も活発な今年の議会では文化部会が提出した文化祭基本方針案に、対し討議中である。
その基本方針案は、内容の充実化を目的とする。9月8日はクラス一般参加、10月4日に文化クラブ中心で模擬店、デパート等をする二分化を予定とのことである。
これに対し議員側の発言は「9月8日にすると夏休みには準備しなければならぬ。それに去年までは両日とも文化クラブ中心だったのに、何故今年は一昨日だけなのか」等の文化祭基本方針反対論が出た。
その他部会から詳細な内容は各部会に任せて欲しいという希望が有り議決された。また文化運動部会委託の文化祭、体育大会両実行委員会の充足を承認。
なお現在も議会は難行しているが、文化部会と議員の意見の相違をどうまで解決できるか、そして一般生徒の反応はどうか興味深いものだ。

模擬店は12組

阪南高校文化祭

他校訪問として、阪南高校の文化祭ほどのように行われていたのか取材に行ってみた。

阪南高校の文化祭の予算は、我が校では学校側から支出されているのに対し、個人が各自負担している。当日はすべて金券使用で、売り上げは各クラスが精算し、余りは全クラスに均等配分する。

内容として誇れるものといえ、開会式の時の音楽選抜生とコーラス部員による大合唱である。昨年の曲は宗教音楽と合唱曲だったそうだ。その他に人気があつたものといえ、体育館でのグループ参加によるコンサートや舞台発表。これは自由参加であるのに会場は終始満員の観客だった。なお発表するグループはオーディションの結果、決定する。また他校生には模擬店に人気があつた。模擬店をするのは、学校の食堂だけでは一般参加の

研究を主体

大和川高校文化祭は「自主性」ということを目標に文化祭を行っていた。文化祭の内容はクラスで研究発表が主体である。劇、ライブ、ダンスをするところもある。金券を使用する模擬店や喫茶店、金銭問題などの理由から禁止されている。ダンスも同様である。

クラブでは軽音ファミリー、ダンスの発表に人気があつた。我が校で行われる予定のファイヤーストーム等の後援祭典行事は行わ

もよいが、校章と組む必要がある。文化祭は九月十九日、二十日で全員参加。今年、生徒会(自治会)と文化委員会(文化部会)とが中心となり、文化祭の原案に返してテーマを作り、大学の文化祭の単なる模写だけでなく、その中の良いところだけを取り込んでいく方針であるとのことだ。

活躍に期待

★新執行部★

去る六月二日に自治会執行部選挙が行われ、今回の選挙も信任投票であり、立候補者は七名であった。

この日は、一年生の文藝鑑賞と二年生の修学旅行説明会が重なっていた。一年生は四限目のRに

去年の予算は、一クラス約一万六千円で、その内わけは学校からクラスに出される二千円と、一人三百円程度の個人負担金となっていた。が、今年はまだ未定である。

なお、今年の同校文化祭は九月二十六日、二十七日の二日間に行われる予定である。

部説

執行部を訪問して見たわけだが、他校は執行部が成立しているのに、我が校は成立していない。これは、執行部が無くても、クラブ活動や文化祭、体育大会の準備などの自治会活動ができるという、定感があるからだろう。

目標を

一つを取り上げてみて、自分かしくても、誰かがやってくれる、ううという考えがあるように思われる。

事を実行する事、それと三無主義を無くしていく事。今までの執行部のイメージをもっと変えて、新しいイメージを築いていく事である。

校外トピックス

部員不足などの関係で活動できなかった阪南高校新聞部は、生徒会や先輩の援助を受け、今年から主な活動を開始した。現在部員は八名だが、執行部関係者などの協力で難点を補い、月一回の新聞発行を目標に活動中である。

編集後記

今回は自治会編集という事で阪南、大和川、天王寺の三校を訪問しました。今年の取材は一年生中心のフル活動でもハードでした。他校訪問も私たちにあっては初めての経験だった。初めは緊張したが、何となくとまどう事も多くありましたが、とても興味深かったです。

これを機会に折があらばこのように時集を組んでみたいと思っています。なお、今回、勝手ながら「記者席」に変更しました事を御了承下さい。